

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年06月01日

計画の名称	東山北駅周辺地区における街なみ環境の向上												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	山北町												
計画の目標	<p>東山北駅周辺地区は豊かな自然環境に囲まれた平坦地が広がる地域であり、近年、企業・商業施設の立地や新たなハイキングコースが設定される等で企業の従業員、観光客、地域住民、学生等の利用が増加傾向にある。</p> <p>しかし、現在は駅前広場・ロータリースペースがないため、通勤時間帯には送迎車両が駅周辺の県道、町道に滞留し混雑が生じ、高齢者や子どもをはじめとした歩行者にとって交通安全上、危険な状況となっている。</p> <p>また、地域住民やハイカー等の観光客、周辺の町営住宅に居住する子育て世代の家族等がくつろいで利用できるスペースもなく、コミュニティスペースが長年求められていた。</p> <p>このような中、対象地区の自然・観光資源を活かし、街なみ環境を整備することでさらなる魅力や生活環境の向上を図るとともに駅周辺道路の混雑を解消し、地域住民、観光客等が集い、交流できるような賑わいのあるまちづくりを目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	30	A	30	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R2末)
1	東山北駅は地域住民、通勤・通学者、観光客の玄関口となるため、施設の整備により街なみ環境の形成を図り、利便性向上による駅前ロータリーの利用者増加を目指す。 駅前ロータリーの利用者数を増加させる。 1時間あたりの東山北駅前ロータリーの最大利用者数を調査する。	26人/時間	人/時間	31人/時間
2	東山北駅周辺には交通結節点がないため、朝夕の通勤時間帯には送迎車両が駅周辺の県道、町道に滞留し、街なみ環境を悪化させる要因となっているため、広場整備により交通の整序を図る。 駅前ロータリーを整備することで県道、町道に滞留する車両数を減少させる。 1時間あたりの県道、町道に滞留している最大車両数を調査する。	41人/時間	人/時間	10人/時間

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	山北町	直接	山北町	-	-	東山北駅周辺地区 街なみ環境整備事業	広場の整備(シェルター・ベンチ・案内板の整備等) 促進・事業地区面積:240ha	山北町/東山北駅周辺地区						30	8.66	-	
												小計						30		
											合計						30			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 山北町定住対策課において実施	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の整備により、街なみ景観の向上に加え、駅の乗降客の利便性向上が図られるとともに、地域住民等の憩いと交流の場を提供することができた。 ・駅前ロータリーの整備により、通勤時間帯の送迎車両による県道・町道の混雑が解消され、歩行者の安全が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の整備により、近隣で宅地分譲開発が行われるようになった。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・山北町景観計画に基づき、自然環境と地域資源を活かした魅力ある景観づくりを推進する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	駅前ロータリー利用者数	
	最終目標値	31人 / 時間
	最終実績値	63人 / 時間
2	県道、町道滞留車両数	
	最終目標値	10人 / 時間
	最終実績値	1人 / 時間